

## 10 森林ボランティアリーダー・サブリーダー研修会

- 【日 時】 9月2日（土）、3日（日）  
【場 所】 王滝村松原スポーツ公園ほか  
【内 容】 以下のとおり

平成 18～19 年度に実施された森林ボランティアリーダー養成講座の受講者を対象に作業技術の維持を目的として毎年実施しているリーダー研修会と、リーダーの負担軽減や世代交代を図るため愛知中部水道企業団職員を対象としたサブリーダー養成講座について、今年も王滝村で実施いたしました。台風が近づいている中で雨が心配されましたが、幸い両日とも好天に恵られました。

初日は木曾合同庁舎にて開会式を行った後、9月23日に行われる「水源の森応援隊」の会場となる王滝村松原スポーツ公園へ移動して当日の作業現場を確認し、リーダーはそのまま現地にて実技講習、サブリーダーは王滝村公民館に移動して講義を行いました。

リーダーの実技講習は、「水源の森応援隊」の準備作業を兼ね、当日の参加者が作業しやすいよう通路をあげながら、除伐作業において伐る木や残す木について、王滝村経済産業課の田中課長補佐の指導を受けながら確認しました。

サブリーダー養成講座は、午前中は大島より木曾地域の概要として木曾の森林・木曾川の役割、企業団との交流の経緯や森林整備協定等についての説明を行い、午後は木曾地域振興局林務課職員より作業時の服装や道具の使い方、作業時の心構えや安全確保に関する注意点等についてご講義いただきました。リーダー・サブリーダーとも午後3時45分には日程を終了し、その日は王滝村内に宿泊しました。

2日目は、王滝村内の国有林において行われている治山工事現場の見学会に参加しました。これはS59年の長野県西部地震及びH26年の御嶽山噴火により継続的に行われている災害復旧工事について、木曾森林管理署・長野県・王滝村の共催により2年に1度一般住民を対象に行われているものです。午前9時30分に松原スポーツ公園を出発し、始めに濁川地籍の幕岩展望台において西部地震により発生した「御嶽崩れ」による濁沢川・伝上川合流点付近の治山工事の経過について森林管理署の説明を受けました。西部地震から30年以上が経過しましたが、数十か所に及ぶ堰堤の建設やヘリコプターによる主旨の空中散布、村民・下流域住民らによる植樹活動などのおかげで、土石流により山肌が露出した場所も緑に覆われているのがよく分かりました。その後、濁川に建設中の砂防ダム建設現場を回りましたが、現在工事中の第64号・65号谷止工現場では、表面を丸太で覆われた特徴的な堤体を見ることができました。これは国有林内から搬出される間伐材の有効利用を図るだけでなく、コンクリートの型枠を兼ねるとともに型枠撤去の手間を省くという利点があるとのことでした。

午後からは、リーダーがサブリーダーに指導する形で、「水源の森応援隊」作業予定地内において除伐作業を実施しました。1時間程度の短い作業となりましたが、サブリーダーの皆さんは各リーダーの指示に従い1本ずつ丁寧に不用木を切り倒していきました。午後2時30分に閉会式を行い、今回参加したサブリーダー7名（企業団事務局1名を含む）に修了証書を授与し、全日程を終了しました。参加者に怪我や事故もなく、無事実施することができました。

\*本事業は、愛知中部水道企業団の「水道水源環境保全基金助成金」をいただき実施しました。

◎ 当日の様子

1日目 (9月2日)



開会式の様子



全員で現場確認



リーダーの実技講習



サブリーダー養成講座 (講義)

2日目 (9月3日)



現場見学会 (幕岩展望台)



幕岩展望台からみた濁沢川全景



リーダーの指導を受け除伐を行う



閉会式 (修了証書授与)